

2015年度 事業報告書

(2015年4月1日 ～ 2016年3月31日)

<はじめに>

2015年度もアジアの女性たちや子どもの自立を支援するために皆様から寄付されたものを販売するリユース・リサイクルショップを運営することができました。捨てるにはもったいないと思う気持ちがゴミの減量化につながり、もう一つの目的である地域循環型社会に役だっています。

日々のショップ運営は厳しいときもあります。しかしボランティア、お客様、多くの方の力により、今までのショップでの収益金を国際協力NGOを通して11カ国(日本含む)と顔の見える民衆支援ができました。子どもたちの医療支援、放射能から守る活動、絵本を届ける運動などにつながってきたことはすばらしいことです。

世界では終わりの見えないシリア内戦によるシリア難民、IS やその他の過激派による同時多発事件、国内では震災による復興の遅れ、景気の不透明さ、高齢者社会など課題は山積していますが、一人ひとりができる事を協力しあって実行していきたいと思えます。

1. 資源のリユース・リサイクルを推進する事業

全国的な個人消費の落ち込みでショップにも影響がありました。しかしながら多彩なイベント(各種セールやフェア等)を開催することで、売り上げは目標を達成することができました。そのためのチラシを57,200枚まくことで効果もありました。特に着物フェアの時はショップ前の空き店舗を借り着物や和装小物を、ショップでは衣類や雑貨などを販売し、その相乗効果で売り上げを100万円にすることができました。販売できなかった衣類については、提携先のナカノ(株)に搬入し再利用され、ファイバーの一部は「エコ手袋」として再生され、ショップで販売しました。イベント等では多くのボランティアの協力が欠かせません。新しいボランティアさんも増えましたが、より多くのボランティア参加を促す努力が必要です。

2. アジア等における市民、とりわけ女性の生活の向上と自立のための活動を支援する事業

2011年3月11日の東日本大震災から5年が経ちました。しかし、放射能汚染地を含め震災被災地の復興にはほど遠いのが現実です。海外支援とともに東日本大震災の復興支援のための寄付をしました。

2015 年度支援先（支援国・支援先・支援金額・プロジェクト名の順）

支援国	支援先	支給金額	助成対象の事業等
ネパール	特定非営利活動法人 地球の木	50,000 円	ネパール大地震に寄せて
ベナン	特定非営利活動法人 ハンガー・フリー・ワールド	45,240 円	ベナンにおける母子栄養改善事業
イラン・シリア・ 日本	日本イラク医療支援 ネットワーク	200,000 円	チョコレート募金(福島の子ども達を放射能から守る活動とイラクでの医薬品購入)
ミャンマー	公益社団法人シャンティ 国際ボランティア会	17,000 円	タイのミャンマー難民キャンプ図書館支援事業 絵本を届ける運動
ミャンマー	公益社団法人シャンティ 国際ボランティア会	50,000 円	タイのミャンマー難民キャンプ図書館支援事業 絵本を届ける運動
カンボジア	特定非営利活動法人 国際子ども権利センター (シーライツ)	100,000 円	カンボジア スパイリエン州コンポンロー郡タナオ・コミュニティにおけるベトナムへの出稼ぎによる子どもの人身売買及び児童労働防止プロジェクト
日本	福島子どもこらっせ神奈川	85,000 円	福島県楡葉町の小中学生を神奈川に招いてリフレッシュプログラム
日本	国際協力 NGO FoE Japan(Frends of the Earth)	100,000 円	福島ぽかぽかプロジェクト(福島に住む親子が県内で線量の低い猪苗代湖畔で短期保養する)
合 計		647,240 円	

その他の支援

フィリピン	フィリピンベンゲット州の山岳地帯に住む女性たちが作ったジンジャーティ販売	23,790 円 (32 個)
日 本	いわき食彩館の物品販売	80,235 円

3. 地域市民の国際的な意識の自覚を促進する事業

WE 講座・報告会

- 第1回 5月22日「福島ぼかぼかプロジェクト報告」
講師：矢野恵理子さん（国際協力 NGO FoE Japan）
参加者：12名
- 第2回 9月11日「貧困なくそうキャンペーン事前学習会」
講師：田村るみさん（ハンガー・フリー・ワールド）
参加者：14名
- 第3回 1月29日「絵本貼りワークショップ」
講師：鈴木淳子さん（シャンティ国際ボランティア会）
参加者：16名
- 第4回 3月10日「報告会」
講師：遠野はるひさん「福島子ども・こらっせ神奈川」
参加者：11名

4. 法人の事業の広報普及をはかる事業

- (1) WE 21 ジャパンとつかの支援事業や運動を紹介するため、また会員への情報共有として「ういっと通信」を3回、「ういっとミニレター」を1回発行しました。
- (2) 印刷機及び複合機をショップに導入しました。スタッフの印刷労力の軽減ができました。また、セールチラシなどより多く印刷することができ、広報活動が活発になりました。
- (3) よこはま夢ファンド助成金を活用し、カラーの三つ折りパンフレットを作成しました。
- (4) セールチラシ、フェアチラシを発行しました。また、地域共通チラシについてもいつものエリア以外に日時を決め、一斉に配布しました。配布直後より問い合わせがあり、今後も定期的にチラシをまき続けていくことが大事です。
- (5) WE 21 ジャパンとつかのホームページをリニューアルし、ブログにはショップ情報を掲載しました。
- (6) ブロケード（地域情報誌）に2回、HP「戸塚新聞」にも掲載され、広く市民にショップの情報を届けました。
- (7) 昨年度支援先パンフレットを会員やお客様に配りました。
- (8) 着物フェアの情報をタウンニュースに載せました。

5. 目的達成に必要な事業（組織活動）

- (1) 運営委員会を毎月開き、WE 21 ジャパンとつかの総会での方針にそって討議し活動しました。
- (2) 戸塚区社会福祉協議会のボランティア保険に加入登録しました。

- (3) 15周年記念として研修バスツアーを企画・実施しました。(3月23日)
エコものセンター(倉庫)及びナカノ(株)、ファイバーリサイクル秦野工場
で研修しました。17名の参加がありボランティアさんとの交流もできました。
- (4) 会員数

目標人数	期首人数 (4月1日)	新規加入	期末人数 (3月31日)
80人	79人	7人	77人

6. WE 2 1 ジャパンとの連携

- (1) グループ会議などに出席しました。また、いろいろな講座や報告会に出席し、
情報の共有をしました。
- (2) イベントチームのメンバーとして、WE 2 1 ジャパンが主催する各イベント
に参加しました。
- (3) WE 2 1 ジャパンから要請があり、インターン生(大学生)を一日受け入れ
ました。WEショップの存在を多角的に理解してもらうことができました。

7. 地域 NPO との連携

- (1) エリア連絡会に出席して近隣地域ショップと情報交換をしました。
- (2) 横浜南部エリア連絡会に出席し、他地域と連携しました。

8. ありがとうチケット

ボランティアさんへの感謝の気持ちとして、今年度もありがとうチケットを発行
しました。

発行及び使用状況

2014年度	発行枚数 1,678枚	利用枚数 777枚	利用率 46.3%
2015年度	1,743枚	935枚	53.6%

9. 他団体との交流連携

- (1) 戸塚区内で活動する生活クラブ運動グループ等で構成される「戸塚まちづく
りユニット」に月1回出席し、他団体と情報交換をしました。
- (2) 6月の「ふくしまつり」に参加し、アピールしました。
- (3) 昨年に続き、とつか区民活動センターと区役所が主催する「とつかお結びひろ
ば」に参加しました。パネル展示の他共通チラシを配りアピールしました。
- (4) W.Co 協会からの依頼で横浜市就労準備支援事業に参加し、就労支援実習生を
受け入れました。11月からショップで毎週2日の実習を続けています。